

## 編集方針

GRI:2-2, 3, 5, 6

不二製油グループは、ステークホルダーとのコミュニケーションツールとして、「統合報告書」と「サステナビリティレポート」を年次で発行しています。

「統合報告書」は、当社グループの事業全体像および中長期的な戦略を記載し、その内容についてステークホルダーの皆様との対話を重ねることで、企業価値の向上を図ることを目的としています。報告対象範囲は主に連結子会社・持分法適用会社です。

一方「サステナビリティレポート」は、当社グループのサステナビリティ経営およびESGマテリアリティについて「方針・考え方」「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」「主な取り組み」を整理し、広範なステークホルダーの皆様へ網羅的かつ体系的に報告しています。また、外部評価ならびにESGに関する詳細データを掲載し、「統合報告書」のサステナビリティ情報を補完しています。

|                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 報告対象範囲           | 不二製油グループ<br>旧不二製油グループ本社(株)および国内外に拠点を置く連結および関係会社の活動を含みます。詳しくは下記グループ会社一覧をご確認ください。<br>グループ会社一覧(PDF形式、1.36MB)                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 報告対象期間           | 2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)の実績を報告しています。<br>なおガバナンスについては2025年6月時点の情報に基づき掲載しています。<br>一部上記期間以外の活動も含みます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 発行時期             | 2025年9月12日(日本語版)<br>2025年10月31日(英語、中国語版)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 参考にしたガイドライン      | <b>GRIスタンダード</b><br>本報告書はGRIスタンダードに準拠しています。<br><br><b>IFRS開示基準S1号「サステナビリティ関連財務情報の開示に関する全般的要求事項」</b><br>国際会計基準(IFRS)財団傘下の国際サステナビリティ基準審議会(ISSB)が策定した基準を参考に、ESGマテリアリティの重点項目ごとに「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」で構成しています。                                                                                                                                                                                                                                                           |
| GRIに基づく開示情報の決定方法 | 「サステナビリティレポート2025」においては、以下の考え方により、持続可能な社会の実現のために当社グループの貢献が期待されるテーマについてご紹介しています。<br>① 当社グループのESGマテリアリティ※は、マテリアリティマップ上で当社グループが社会・環境に与える影響度が「極めて高い」「高い」または社会・環境課題が当社グループの財務に与える影響度が「極めて高い」「高い」と評価されたテーマです。これらについては、グループレベルで対応し、情報開示を行っています。<br>② ①以外のテーマについても、関連する各社・各部門で対応し、ステークホルダーの意思決定に影響し得る情報を開示しています。<br><br>※ <a href="https://www.fujioil.co.jp/sustainability/sustainability_management/">https://www.fujioil.co.jp/sustainability/sustainability_management/</a> |

情報の正確性を担保する目的で、スコープ1および2の全CO<sub>2</sub>排出量の95%以上およびスコープ3カテゴリ1のCO<sub>2</sub>排出量において第三者保証を得ています。

※ 報告書画像からPDFファイルへリンクします。

第三者保証



### 温室効果ガス排出量 検証報告書

2025年7月25日

#### 不二製油株式会社 御中

一般社団法人日本能率協会  
サステナビリティセンター  
上級経営管理者 前田 修俊

**1. 検証の対象及び目的**

不二製油株式会社（以下「事業者」という。）が作成した算定対象<sup>※1</sup>における温室効果ガス（GHG）排出量算定結果「2024年度データ CO<sub>2</sub>排出量算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の2024年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の以下のGHG排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 サステナビリティセンター（以下「当協会」という。）に対し、協定の保証を目的とした検証を依頼した。

1) スコープ1 GHG 排出量

算定対象において使用された天然ガス、都市ガス、LPガス、軽油、灯油、ガソリンに伴って直接的に排出されるCO<sub>2</sub>排出量

2) スコープ2 GHG 排出量

算定対象における電力、蒸気の使用に伴って間接的に排出されるCO<sub>2</sub>排出量

検証の目的は、事業者のGHG排出量情報が算定方法<sup>※2</sup>に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成しGHG排出量情報を報告する責任は事業者であり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載されたGHG排出量情報に対する結論を表明することにある。

**2. 検証手続き**

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従ってGHG排出量情報の検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載のGHG排出量を決定するために用いられた情報に関する算定方法、算出根拠システム、及び、関連資料の確認
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- 不二製油㈱南事業所、㈱阪南タンクターミナルへの訪問による算定対象、データ収集手順確認、供給されたエネルギーのモニタリングポイントの視場確認
- GHG排出量情報の正確性を確認するためにサンプリングによる範囲となる資料の確認

|                                 |                                                        |    |       |
|---------------------------------|--------------------------------------------------------|----|-------|
| 温室効果ガス排出量<br>検証報告書（No.）: 202505 | 一般社団法人日本能率協会 サステナビリティセンター<br>〒100-8502 東京都港区有明3-1-1-22 | 頁数 | 1 / 2 |
|---------------------------------|--------------------------------------------------------|----|-------|



### 温室効果ガス排出量 検証報告書

2025年8月7日

#### 不二製油株式会社 御中

一般社団法人日本能率協会  
サステナビリティセンター  
上級経営管理者 前田 修俊

**1. 検証の対象及び目的**

不二製油株式会社 御中（以下「事業者」という。）が作成した算定対象<sup>※1</sup>における温室効果ガス（GHG）排出量算定結果「2024年度データ CO<sub>2</sub>排出量算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の2024年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の以下のGHG排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 サステナビリティセンター（以下「当協会」という。）に対し、協定の保証を目的とした検証を依頼した。

1) スコープ3 GHG 排出量

算定対象の事業活動におけるスコープ3 カテゴリ1<sup>※2</sup>において排出されるCO<sub>2</sub>排出量

検証の目的は、事業者のGHG排出量情報が算定方法<sup>※3</sup>に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成しGHG排出量情報を報告する責任は事業者であり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載されたGHG排出量情報に対する結論を表明することにある。

**2. 検証手続き**

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従ってGHG排出量情報の検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載のGHG排出量を決定するために用いられた情報に関する算定方法、算出根拠システム、及び、関連資料の確認
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- GHG排出量情報の正確性を確認するためにサンプリングによる範囲となる資料の確認

|                                      |                                                        |    |       |
|--------------------------------------|--------------------------------------------------------|----|-------|
| 温室効果ガス排出量<br>検証報告書（No.）: Aug./202505 | 一般社団法人日本能率協会 サステナビリティセンター<br>〒100-8502 東京都港区有明3-1-1-22 | 頁数 | 1 / 2 |
|--------------------------------------|--------------------------------------------------------|----|-------|



### 3. 検証の結論

算定報告書に記載された2024年度のGHG排出量情報<sup>※4</sup>は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていると認められるような事項は発見されなかった。

**NOTE:**

※1：算定対象  
国内：不二製油株式会社 南事業所  
株式会社阪南タンクターミナル  
不二製油株式会社 千葉工場  
千葉ペグオイルタンクターミナル株式会社  
不二製油株式会社 関東工場  
不二製油株式会社 りんく工場  
不二製油株式会社 神戸工場  
株式会社フジサーワーズ  
海外：フジケイル（シンガポール）  
ワットランド モニターズ  
バルジエ エディアル オイル  
フジケイル（タイランド）  
クレアアディ インダストマ  
ワジ グローバル チョコレート (M)  
インダストリアル フード サービス  
本二製油（安永港）有限公司  
本二製油（安永港）有限公司  
本二製油（寧波）有限公司  
天津三三自有限公司  
ブラザー チョコレート マニファクチャリング（シャンハイ）  
ワジ ベクタブル オイル  
ハラド  
ブラザー チョコレート カンパニー（イーストグリーンビル工場）  
ブラザー チョコレート カンパニー（ユニオンシティ工場）  
ブラザー チョコレート カンパニー（キャンベルフォード工場）  
フジケイル ヨーロッパ  
ワジ オイル ガーナ

※2：算定方法  
「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン (ver2.7)」及び事業者が作成した「算定手順書」

※3：上記算定対象の検証された温室効果ガス排出量は別紙を参照

以上

|                                 |                                                        |    |       |
|---------------------------------|--------------------------------------------------------|----|-------|
| 温室効果ガス排出量<br>検証報告書（No.）: 202505 | 一般社団法人日本能率協会 サステナビリティセンター<br>〒100-8502 東京都港区有明3-1-1-22 | 頁数 | 2 / 2 |
|---------------------------------|--------------------------------------------------------|----|-------|



### 3. 検証の結論

算定報告書に記載された2024年度のGHG排出量情報<sup>※4</sup>は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていると認められるような事項は発見されなかった。

**NOTE:**

※1：算定対象  
国内：不二製油株式会社  
オム乳業株式会社  
株式会社エフアンドエフ  
海外：フジケイル（シンガポール）  
ワットランド モニターズ  
バルジエ エディアル オイル  
フジケイル（タイランド）  
クレアアディ インダストマ  
ワジ グローバル チョコレート (M)  
インダストリアル フード サービス  
本二製油（安永港）有限公司  
本二製油（寧波）有限公司  
天津三三自有限公司  
ブラザー チョコレート マニファクチャリング（シャンハイ）  
ワジ ベクタブル オイル  
ブラザー チョコレート カンパニー  
ハラド  
フジケイル ヨーロッパ  
ワジ オイル ガーナ

※2：スコープ1の各カテゴリの範囲  
○ カテゴリ1（購入した製品・サービス）：主な原料の原料及び容器包装を対象

※3：算定方法  
「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン (ver2.7)」  
「国立研究開発法人産業技術総合研究所 IDRA Ver.3.4.1」及び、事業者が作成した「スコープ3カテゴリ1算定手順書」

※4：上記算定対象の検証された温室効果ガス排出量は別紙を参照

以上

|                                      |                                                        |    |       |
|--------------------------------------|--------------------------------------------------------|----|-------|
| 温室効果ガス排出量<br>検証報告書（No.）: Aug./202505 | 一般社団法人日本能率協会 サステナビリティセンター<br>〒100-8502 東京都港区有明3-1-1-22 | 頁数 | 2 / 2 |
|--------------------------------------|--------------------------------------------------------|----|-------|